作成日： 2015年08月03日
改訂日： 2024年03月29日

安全データシート(製品安全データシート)

【１．化学品及び会社情報】

製品名	手指の洗浄 消毒剤
会社名	株式会社MonotaRO
所在地	〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183　リベル3階
担当者名	商品お問合せ窓口
電話番号	0120-443-509
FAX番号	0120-289-888
緊急連絡先	所在地と同じ
推奨用途	手指・皮膚の洗浄・消毒
使用上の制限	用途以外に使用しない
整理番号	M260911

【２．危険有害性の要約】

化学品のGHS分類

物理化学的危険性	引火性液体 区分 3
健康に対する有害性	
急性毒性（経口）	区分に該当しない
急性毒性（経皮）	区分に該当しない
急性毒性（吸入:気体）	区分に該当しない
急性毒性（吸入:蒸気）	分類できない
急性毒性（吸入:粉じん／ミスト）	分類できない
皮膚腐食性／刺激性	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 2
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分 3（気道刺激性、麻酔作用）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分 2（肝臓、中枢神経系）
誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	
水生環境有害性　短期（急性）	分類できない
水生環境有害性　長期（慢性）	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語：警告

危険有害性情報：
引火性液体及び蒸気
強い眼刺激
呼吸器への刺激のおそれ
眠気又はめまいのおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ（肝臓、中枢神経系）

注意書き

[安全対策]：
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
容器を密閉しておくこと。
ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

[応急措置]：
皮膚(又は髪)に付着した場合:
直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。
吸入した場合:

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
眼に入った場合:
水で数分間注意深く洗うこと。
次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合:
医師の診察／手当てを受けること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合:
医師に連絡すること。
火災の場合:
消火するために大量の水又はアルコール用消火剤を使用すること。

［保管］: 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

［廃棄］: 内容物／容器を関連法規制ならびに地方自治体の基準に従い廃棄すること。

【３．組成及び成分情報】

化学物質・混合物の区別	混合物
化学名又は一般名	
有効成分	ベンザルコニウム塩化物　0.05w/v%
その他成分	エタノール グリセリン 精製水

【４．応急措置】

吸入した場合	新鮮な空気の場所に移動する。
皮膚に付着した場合	液が付着した衣服や靴は直ちに脱ぐ。 直ちに多量の水で充分に洗い流す。
眼に入った場合	速やかに流水でよく洗眼する。コンタクトレンズは外す。 状態に変化が見られた場合、速やかに医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	吐かずに口をすすぎ、水を飲む等の処置をする。 異常があるときは速やかに医師の診断を受ける。

【５．火災時の措置】

適切な消火剤	水噴霧、耐アルコール性泡消火剤、粉末消火薬剤、二酸化炭素、乾燥砂
使ってはならない消火剤	棒状放水
特有の消火方法	（周辺火災の場合） 消火作業は、風上から行う。周囲の設備等に散水して冷却する。 （着火した場合） 速やかに容器を安全な場所に移し、適切な消火剤を使用して消火する。 移動不可能な場合には、容器及び周辺に対して適切な消火剤で消火する。

【６．漏出時の措置】

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業の際には、必ず保護具(保護手袋、保護眼鏡、保護衣、ゴム長靴等)を着用する。
屋内の場合、作業が終わるまで十分に換気を行う。
多量の場合、人を安全に退避させる。

環境に対する注意事項	流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。 大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	少量の場合は、吸着剤(おがくず・土・砂・ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。 多量の場合は、周囲への流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。
二次災害の防止策	付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

【７．取扱い及び保管上の注意】

取扱い

技術的対策	取扱場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置する。 火気その他着火源(静電を含む)から隔離する。

	必ず換気をよくして使用する。
安全取扱注意事項	取扱い後は手をよく洗う。
接触回避	知見なし
保管	
安全な保管条件	容器を密閉して換気の良い場所で保管する。 他のものと混同しないように保管する。
安全な容器包装材料	他の容器に移し替える場合は、専用容器を使用する。 (商品名、使用方法、注意事項を明記した専用容器)

【８．ばく露防止及び保護措置】

保護具	
呼吸用保護具	必要に応じてマスクなどを着用
手の保護具	保護手袋(不浸透性を検討する)
眼、顔面の保護具	保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	保護衣

【９．物理的及び化学的性質】

物理状態	液体
色	無色
臭い	エタノールのにおい
融点／凝固点	知見なし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	知見なし
可燃性	知見なし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	知見なし
引火点	知見なし
自然発火点	知見なし
分解温度	知見なし
ｐＨ	7.3±1.0（原液、25℃）
動粘性率	知見なし
溶解度	水と任意の割合で混合
ｎ-オクタノール／水分配係数（log値）	知見なし
蒸気圧	知見なし
密度及び／又は相対密度	0.901±0.004（原液、15℃）（相対密度）
相対ガス密度	知見なし
粒子特性	知見なし

【10. 安定性及び反応性】

反応性	知見なし
化学的安定性	通常の取扱い条件においては、光、熱、衝撃に対して安定である。 ただし、日光、熱の影響で匂いが変化する恐れがある。
危険有害反応可能性	知見なし
避けるべき条件	知見なし
混触危険物質	知見なし
危険有害な分解生成物	知見なし

【11. 有害性情報】

(モノタロウ手指の洗浄・消毒剤として)

急性毒性	
経口	区分に該当しない
経皮	区分に該当しない
吸入:気体	区分に該当しない
吸入:蒸気	知見なし
吸入:粉じん／ミスト	知見なし
皮膚腐食性／刺激性	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 2　強い眼刺激
呼吸器感作性又は皮膚感作性	
呼吸器	知見なし
皮膚	知見なし
生殖細胞変異原性	知見なし
発がん性	知見なし

生殖毒性	知見なし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分 3（気道刺激性）　呼吸器への刺激のおそれ
	区分 3（麻酔作用）　眠気又はめまいのおそれ
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分 2（肝臓、中枢神経系）
	長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ（肝臓、中枢神経系）
誤えん有害性	知見なし

（エタノール分100%として）

急性毒性	
経口	ラット　LD50　7,000-11,000 mg/kg
経皮	ウサギ　LDL0　20,000 mg/kg
吸入:蒸気	ラット　LC50　66,280 ppmV（124.7 mg/L）
皮膚腐食性／刺激性	刺激性なし　（ウサギ　4時間ばく露、OECD TG 404）
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	中等度の刺激性（ウサギ　OECD TG405）
呼吸器感作性又は皮膚感作性	知見なし
生殖細胞変異原性	骨髄小核試験　マウス・ラット　陰性
	骨髄染色体異常試験　チャイニーズハムスター　陰性
	精子細胞小核試験　マウス　陰性
発がん性	摂取によりエタノール及び主代謝物のアセトアルデヒドが悪性腫瘍を誘発する
生殖毒性	出生前のエタノール摂取により、新生児に先天性の奇形発生
	経口投与　妊娠ラット　奇形の発生報告あり
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	吸入ばく露により、眼及び鼻への刺激症状あり
	血中エタノール濃度の上昇に伴い、軽度から重度の中毒症状を生じる
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	アルコールの長期大量摂取はほとんど全ての臓器に悪影響を及ぼす
	最も強い影響を与える標的臓器は肝臓
誤えん有害性	知見なし

【12. 環境影響情報】

（モノタロウ手指の洗浄・消毒剤として）

生態毒性	知見なし
残留性・分解性	知見なし
生態蓄積性	知見なし
土壌中の移動性	知見なし
オゾン層への有害性	知見なし

（エタノール分100%として）

生態毒性	
水生環境有害性　短期（急性）	藻類（クロレラ）　EC50　1,000 mg/L　96時間
	甲殻類（オオミジンコ）　EC50　5,463 mg/L 48時間
	魚類（ニジマス）　LC50　11,200 ppm　96時間
水生環境有害性　長期（慢性）	甲殻類（ニセネコゼミジンコ）　NOEC　9.6 mg/L 10日間
残留性・分解性	急速分解性あり（BODによる分解度：89%）
生態蓄積性	知見なし
土壌中の移動性	知見なし
オゾン層への有害性	知見なし

【13. 廃棄上の注意】

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

【７．取扱い及び保管上の注意】を参照する。
内容物を廃棄する場合は、廃棄物処理業者に処理を依頼する。
使い終わった容器は、管轄自治体のルールに従いリサイクル又は処分する。

【14. 輸送上の注意】

国連番号	1170
品名（国連輸送名）	エタノールまたはその溶液
国連分類	クラス3　引火性液体類
容器等級	Ⅲ
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	【７．取扱い及び保管上の注意】の項の記載による他、 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、 損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

	高圧ガスとの混載を避ける。
	消防法による第1類並びに同第6類の危険物との混載を避ける。
国内規制がある場合の規制情報	適用法令の定めるところに従う。

【15. 適用法令】

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律

指定医薬部外品

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条、施行令第18条)（記載内容は営業秘密に相当する）

対象外

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2)（記載内容は営業秘密に相当する）

対象外

皮膚等障害化学物質(則第594条の2)（記載内容は営業秘密に相当する）

対象外

労働安全衛生法施行令	対象外

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR法、化管法）

該当しない

毒物及び劇物取締法	該当しない
消防法	該当しない
危険物船舶運送及び貯蔵規則	引火性液体類

【16. その他の情報】

参考文献	NITE統合版　政府によるGHS分類結果　エタノール　分類実施年度2013年
	「新指定医薬部外品の添付文書等に記載する使用上の注意等について」の
	一部改正について（平成29年10月17日付け薬生安発1017第4号）

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、危険性、有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意してください。
また、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。
なお、この情報は新しい知見に基づき予告なしに改訂されることがあります。